

リニアの残土

龍江の盛土を考える講演会

～ 開催のご案内 ～

JR東海から、リニア中央新幹線のトンネル建設に伴う発生土を、飯田市龍江番入寺の谷に搬入する説明会が開催されました。

40万 m^3 ・ダンプカーで約10万台もの膨大な土砂を運び込んで、清水沢川水系の中流部を埋め、高さ35m、奥行き600m、約4.5haの平坦地を造成する計画です。

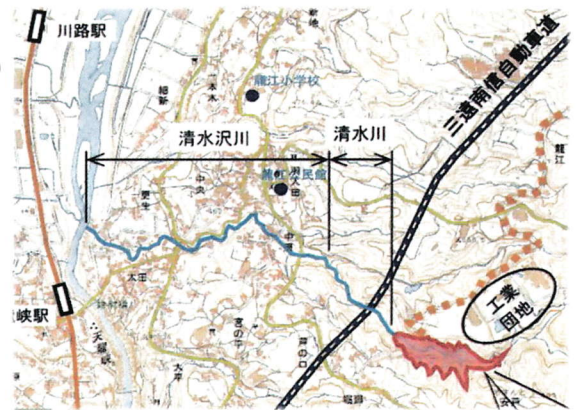
私たちは、川を埋めるような盛土が本当に大丈夫なの？ といった疑問を、地域の皆さんと一緒に考えて行きたいと思います。

今回は、第一回目の学習会として、下記により講演会を開催しますので、多くの方々のご参加をお待ちしています。

1 日時 令和元年 10月19日(土)
午後1時30分～
(受付：午後1時～)

2 場所 龍江公民館 大会議室
(飯田市龍江4517番地)

3 講演会 技術士・環境カウンセラーの
講師 桂川 雅信 先生
演題 『川埋め盛土の安全性について』



JR東海の説明資料より

桂川雅信先生 プロフィール

1946年生まれ。東京農工大学農学部卒業。公務員として約20年間、下水道の計画やシールドトンネルの設計に従事。

水問題の研究活動をはじめ、北海道教育大学、三重大学の非常勤講師、釧路湿原自然再生協議会構成員、滋賀県立水環境科学館長、子供の科学教育研究所長等を歴任し、全国の川や湖沼を巡り水環境の改善と地域環境計画の策定や環境教育に関わる。

文部科学省認定の技術士、環境省登録の環境カウンセラーとして2010年「全国・水の相談所」を開設。2012年より上伊那郡中川村在住。中川村村議会議員。日本科学者会議長野支部幹事。

水と土の専門家として、上下伊那各地のリニア対策委員会等でも助言されています。

著作に「環境展望第3巻」(実教出版)、「環境辞典」(旬報社)、「よくわかる水問題一問一答」(合同出版)その他多数。

申込みは不要です。

資料代200円のご負担をお願いします。

質疑応答を含め、午後4時までに終了する予定です。

駐車場は、龍江公民館前・JA龍江事業所・JA龍江選果場をご利用ください。



H29.7九州北部豪雨災害
国交省九州地方整備局HPより

みんなで
考えよう！

講演会 発起人

『龍江の盛土を考える会』

会長：林 平吉

副会長：林 宗吉・小木曾 悦人

お問い合わせ先 080-5142-3733 飯島 まで
(事務局) 090-4704-1466 小木曾